

第9回 岡山写真研究会・倉敷展

掲載は50音順

BREAK 大西マサエ



打ち捨てられたものを見ると、それらが重宝され大切に使われていたころの事を思います。人は、忘れたり飽きたり不必要

と思ったものに対して時に非情なほど残酷になるのだなと思います。ここに写るものたちに私は持ち主の面影が見え隠れするのです。

近隣逍遙 谷道彦



住まいから徒歩3、40分以内を散策するのが楽しみです。毎日見慣れた風景に新鮮味を感じるように生きるのが信条です。

毎日見慣れた風景の中に、私の世界がダブって表現されます。それが私の写真です。

素顔の街 守田和



緑豊かで、おしゃれで、落ち着いた佇まいの街。そこに住む人々の普段通りの生活。現実を少しだけ忘れて、ゆっくりと

流れる閑静な時間をお楽しみ下さい。

海辺の情景 神達勝之



よく晴れた休日、海辺の町を訪ねてみた。潮風に吹かれながら海岸線を歩いていると、いつもの住み慣れた町にはない情景に出会った。その

中に見つけた「自分だけの風景」を切り撮ってみた。

電柱風貌 前原耕二

電柱が、全国に約3000万本あるそうです。電柱は、その場所と時間を共有し、同じ空気を吸いながら、人々をじっと見つめてきています。

写真一枚一枚の電柱たちが見つめてきた物語を想像して下さい。



ペリフェリーの記憶 山上高人



自宅や旅行、買い物、散歩などの日常生活においては、肝心なものより、視野の端にあつて何気なく見た何でも

ないものを良く憶えていることがあります。今回はそのような光景を集めてみました。

玉島北公民館 「やさしい写真」 講座の皆さんが、2～3枚の組写真を展示します。
浅原弘二、往田繁信、往田万里、板野則彦、板野温子、井上保子、小川雄也、小野須美夫、佐々木澄夫、田辺淑子、西井明生、西井玉江、弘田英夫、樋口紀典、益谷武夫、森石武士、森本俊生、矢部治子、渡辺幸雄、白神真理 (公民館指導員)

平成22年8月10日(火)～15日(日)
午前9時から～午後5時まで(最終日は4時)

倉敷市立美術館
電話 086-425-6034

主催 岡山写真研究会

後援 倉敷市教育委員会 倉敷市文化振興財団 山陽新聞社 山陽放送 西日本放送 岡山放送
倉敷ケーブルテレビ 玉島テレビ放送 oni ビジョン (株)ニコン キタムラカメラ タカハシカメラ